

繊維・染織部会 編

服部部長が「宮階織物株式会社」を訪問。
宮階社長からお話をお伺いしました。



左から宮階社長、服部部長

同社では西陣織の技術を継承しつつ新たな視点での商品開発に取り組んでいます。モットーとする「新しき伝統の創出」は、和装産業の厳しい状況の中で、古き良き技術を未来に継ぐために果敢に挑戦する、覚悟の表れともいえます。

同社はスリットアニメーションという表現技法を用い、着用時の動作により柄が動いて見える織物の開発に取り組みました。その技法は和装・洋装を問わず活用できることから、潜在的なニーズの掘り起こしが期待

されます。

また、昨年6月、本所が主催した「京都知恵ビジネスメッセ in PARIS」に出展し、初めて海外マーケットにもチャレンジしました。その高度な織の技術はパリでも高く評価され、多くの来場者の注目を集めました。

需要開拓に邁進する同社に対し、服部部長は、「西陣織という伝統技術の可能性を追求し、創造性あふれる商品を生み出すことで、業界の振興や次代への継承に注力してほしい」と激励しました。

宮階織物株式会社

代表者/宮階 有二
住 所/京都市上京区笹屋町通六軒町
西入笹屋5丁目311

TEL / 075-462-3030
事業内容/きもの・帯の製作、販売

【繊維・染織部会データ】

部 会 長	服部 正毅 (服部織物株式会社 代表取締役社長)
部 会 員 数	789件 (平成30年12月11日現在)

繊維・染織部会は、和装・洋装の製造・流通業者などの会員企業が所属し、従来の業種・業界の枠を越え、部会員相互の交流を促進する交流懇親会、講演会などを開催しております。

今後の主な予定

未定

こんにちは! ○○部会です。 部会長の部会員訪問

各部会の部会長が、それぞれの部会員を訪問。部会員のみなさまの声をお伺いし、部会の魅力を伝えます。

観光・運輸部会 編

田中部会長が「株式会社松浦食器店」を訪問。
ショールームを見学後、松浦社長からお話をお伺いしました。



左から松浦社長、田中部会長

創業140年を迎えた同社は、飲食シーンを盛り上げる食器や調理器具、厨房設備などを10万点以上取り揃え、京都のおもてなしの向上に大きく貢献してこられました。「笑顔に寄り添う仕事」をモットーに、単なる物販にとどまらず、長年培ってきたノウハウを活かし、新店舗立ち上げのサポートから一流の料理人への支援まで、きめ細かなサービスを提供され、顧客との確かな信頼関係を築いています。

松浦社長は「京都観光にとって料理は欠かせないもの」とし、「“一見さ

んお断り”という言葉は、何度も来店して頂く中でお客様を理解し、お客様好みにもてなしたいという心の現れ。本物の味と香りを作り出すのが京都であり、料理のさらなる深みを目指しているお店や料理人を応援したい」と熱く語られました。

田中部会長からは、「これまでも部会主催の交流会に積極的に参加し、人のご縁を大切にしてこられた松浦社長。引き続き、部会を通じて信頼のネットワークを広げてほしい」と激励しました。

株式会社松浦食器店

代表者/松浦 吉洋
住 所/京都市下京区堀川通松原上ル
来迎堂町726

TEL / 075- 821-4141
事業内容/食器・調理器具・厨房設備の専門商社

【観光・運輸部会データ】

部 会 長	田中 誠二 (株式会社キャリエール・インターナショナル 代表取締役社長)
部 会 員 数	1,377件 (平成30年12月11日現在)

観光・運輸部会では、「人の和を広げ、おもてなし力を高める～学び、気づき、交流、親睦～」をモットーに、毎年公開講演会や視察見学会、部会員交流会など多彩な催しを行っています。ぜひご参加ください。

今後の主な予定

3月14日
部会員講演会・交流会(予定)